

# 平成 26 年 3 月 30 日 主日礼拝

礼拝開始: 午前 11 時 オープン礼拝(ミサ)+持ち寄り音楽会 PartⅢ

司 会 : 片岡洋一兄  
奏 楽 : 小島明美姉  
おいのり : 加藤由美子姉  
さんび : 新聖歌 505「主我を愛す」1. 2. 3 節  
主の祈り  
聖 書 : イザヤ書 43 章 18 ~ 21 節 (P.1004)  
(朗読: 下岡晶子姉)  
音 楽 : カルバリー女性聖歌隊  
安倍正/倉知契&大神雄  
メッセージ : 「主は道を造られる」秘話 倉知 契牧師  
さんびと 献金 : 新聖歌 233「驚くばかりの」  
頌 栄 : ハレルヤ(G・新聖歌 162)  
祝 禱  
報 告

## 【瀬戸ニュース】

- ◇オープンミサ(礼拝)+音楽会に心から歓迎致します。
- ◇第一部のオープンミサは11:00-12:10 その後昼食(無料)  
第二部の持ち寄り音楽会は13:30-15:00 その後ティパーティー  
出演者の方は短いサウンドチェックあり。別紙をご覧ください。
- ◇こども病院の駐車場では丁寧な駐車・使用をお願いします。
- ◇4/12(土)ジョイキッズ「卵探し大冒険」3歳~小学生。無料。
- ◇4/20(日)イースター礼拝(オープン・ミサ)復活祭の愛餐会。
- ◇6/29(日)第4回持ち寄り音楽会・参加者の募集開始!
- ◇祈禱会 木曜10時半/土曜掃除10時半/祈禱会11時15分
- ◇祝大 Aコース ルカ3章-6章/Bコース ヨシュア9章-24章

◇次聖日礼拝奉仕者 [平成26年4月6日]

[司会: 赤塚敏郎兄、いのり: 平松友子姉、聖書朗読: 持田樹理姉]

[ピアノ: 片岡立子姉、賛美リード: 大神 雄兄

アシスト: 武藤詩奈姉、大神美乃姉

[献金: 大神久美姉、受付: 下岡晶子姉]

◇PA: 平松章治兄

◇週報編集: 片岡洋一兄

◇ホームページ編集: 大神真伸兄

◇日曜学校: 倉知契牧師



「持ち寄り音楽会」PartⅢによるこそおいでくださいました。11時からの第一部はオープン礼拝(ミサ)。毎週の日曜礼拝の体験版。ご感想などありましたら聞かせて頂ければ嬉しいです。今回のチラシに、指揮者の小澤征爾さんがよく話される「音楽する」という言葉を載せました。演奏「して」はじめて音楽、英語にしたら「Do Music」でしょうか。審査でなく、楽しむことにコンセプトを置いた持ち寄り音楽会が、皆様に愛されて少しずつ成長してゆくことを願っています。

すでに次回の日程、6月29日(日)も決まっています。今回は聞く側の皆様もどうぞ合唱や個人、グループ演奏に加わってくだされば幸いです。

小澤征爾氏と大江健三郎氏の対談、『同じ年に生まれて~音楽、文学が僕らをつくった』(中公文庫)という本で、小澤征爾さんが「音楽というのは個人的なものだ」という話をしていて、それに大江健三郎さんがこう答えています。

「本当にそう思います。僕は最初、ひとつ日本にない小説をつくらう、というふうに始めたんですけど、人生のあるときから、(小澤氏の)おっしゃるとおり身近にある、生まれてきた障害のある子供が、生きることと仕事とのエネルギーのもとになりました。(中略)うちの光の場合は、生まれたときに知的には駄目だろうと言われた。それを認めた上で、彼と一緒に生きてやろうと考えたわけですね。それまで僕はずっと一人で生きてきた連続のつもりだったけど、この息子と二人で生きてやろうと。共生というのは、こういうエゴイスティックな感情かと、はじめて分かった気もしましたけれどね、自分と息子とで生きてやろうと思った。」

「共生とはエゴイスティックな感情か」とは凄いい表現。絵に描いたような幸せを願いやすい私たちですが、命と命がぶつかり合う臨場感があってこそ人生。きっとその親子の関わりが大江文学を、またオーケストラとの関わりが小澤音楽をリアルに生みだしてきたのだと思います。さて、今日はどんな音楽が生まれるでしょう。

私の人生の大切な一ページに「あなた」が居てくださる、それだけですでに感動のリズムが鳴り響いています。

さあ、Let Us Do Music! 音楽しましょう~♪

瀬戸カルバリーチャペル

倉知 契

God will make a way where there seems to be no way.  
神様は道がないと思えるところに道を造られる(ドン・モエン)